

現 場 説 明 書 追 加 事 項

工事名 (仮称) 備中箕島駅前自転車等駐車場整備工事に伴うフェンスほか設置工事

工 種	種 別	説 明 事 項
	技術者の適正配置	<p>1. 請負代金額 4,500万円以上の工事については、主任技術者又は監理技術者は専任とする。ただし、当初契約時における「請負代金額」は「許容価格」と読み替えて適用する。</p> <p>2. 専任となる期間は、工事着手日から工事検査日までとし、修補等の指示を受けた場合は修補完了日までとする。 なお、この期間における技術者の変更は基本的に認めない。ただし、病気・退職等やむを得ない特別な事情がある場合は、この限りではない。この場合、変更となる事由を書面にて本市に申し出、承認を得ること。</p>
	施工時間帯	<p>1. 本工事の施工時間帯は昼間施工（8:00～17:00）で考えているが、関係機関との協議により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。</p>
	建設副産物	<p>本工事から発生する建設発生土については、原則、現場内で利用することとする。 なお、現場において予定していた土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	変更後請負代金額の算出	<p>1. 請負代金額に変更があった場合の変更後請負代金額の算出は、次の式による。</p> <p>変更後請負代金額</p> $= (\text{変更後設計金額 (税抜)} \times \frac{\text{当初請負代金額 (税込)}}{\text{当初設計金額 (税込)}}) \times (1 + \text{消費税率})$ <p>上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。</p>
	隣接工事	本工事は、別途発注予定の自転車等駐車場整備工事と隣接するため、施工時の交通処理に当たっては、相互の連絡調整等を密にし円滑な交通処理に努めること。
	交通規制	本工事において、極力交通規制が伴わない工法又は、交通規制の期間が短縮される方法について検討し監督員に提出すること。
	その他	<p>1. 工事の実施に当たっては、道路交通法第77条の規定に基づく所轄警察署長の許可を事前に受け一般交通に対する支障を最小限にとどめるものとする。</p> <p>2. 現道の交通処理については、万全を期するものとする。また、工事中一般交通等に支障を及ぼさないように安全確保に努めること。</p> <p>3. 公安委員会や地元との協議等に伴う要望事項については、監督員に報告すること。</p> <p>4. 工事期間中、沿道住民等の第三者により苦情、又は意見があった場合は丁寧に対応し直ちに監督員に報告するとともに適切な処置を講じなければならない。</p> <p>5. 工事中の一般交通開放区間の路面状況については、常時点検を行い特に注意を払い、万一凹凸等が生じた時は速やかに監督員に連絡し、対策を講じるものとする。</p> <p>6. 施工に際し、現道の路面を損傷あるいは汚損しないようにすること。尚、路面汚損防止対策が必要な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>7. 現地の状況により既設構造物施設等の取壊し、復旧及び移設等の必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p> <p>8. 残土等の搬出に際し、公道等の路面汚濁防止に努め、舗装等の補修が必要となった場合は、監督員と協議すること。</p> <p>9. 本工事箇所は、とくに生活環境を保全する必要がある地域であるので施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項							
施工一般	一般事項	1. 施工中の民地への通路は確保するものとし、形態等については別途監督職員と協議すること。							
作業土工	床掘り	1. 床掘り土質は、砂質土で見込んでいる。							
	埋戻し	1. 本工事の埋戻し土は、発生土を流用するものとする。 2. 埋戻し工として、下記のとおり見込んでいる。 <table border="1"><thead><tr><th>項 目</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>流用土</td><td>現場内仮置き</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	項 目	備 考	流用土	現場内仮置き			
項 目	備 考								
流用土	現場内仮置き								
仮設工	一般事項	仮設の施工に当たっては関係法令要綱、指針及び現地条件を勘案のうえ、一般交通・沿道物件並びに工事の安全を十分考慮して施工しなければならない。							
	交通誘導警備員等	本工事は、JR在来線近接工事であるため、JR用地近接箇所の施工時には、列車見張員(在来線)・工事管理者(在来線)の有資格者を配置すること。それぞれ、下記の通り見込んでいる。 列車見張員(在来線)4人 工事管理者(在来線)4人 施工前に管理者と協議の上、覚書(一般)を取り交わしてから施工を行うこと。							